

シェアとご支援をお願いします！  
台風 10 号の被害の現地報告です。

## ☆台風被害で浸水した南富良野を訪問しました☆

2016.9.25

先月末の台風 10 号で大きな被害を受けた南富良野町の障がい福祉サービス事業所「なんぷ〜香房」にお見舞いを届けに行って来ました。

特定非営利活動法人難病支援ネット北海道ではこの「なんぷ〜香房」と提携して**災害備蓄用パン「JPA パンだ!!!」**の販売を始めました。6月に販売を開始して8月まででようやく1,000個売れたと喜んでいて矢先に南富良野に台風が直撃し、浸水の大きな被害を受けたのです。

8月31日に台風10号の影響で空知川が増水し、堤防が決壊して市街地が浸水しました。橋や家、車が流され、多くの家屋が浸水の被害を受けました。

9月1日の北海道新聞のウェブサイトの写真を見ると、浸水した街の写真の真ん中に「なんぷ〜香房」が映っていました。心配して何度か電話をしたものの混乱の中でなかなかつながらず、数日経ってからようやく状況がわかりました。幸いなことに職員さん、利用者さん（障害者の方々）は全員無事だったのですが、建物に大きな被害があったということでした。

被害から約3週間経った昨日（9月23日）、難病支援ネット北海道の理事3名（伊藤たてお、石垣孝樹、永森志織）が、お見舞いを届けるために車で訪問しました。



### ☆車は全部廃車、パン屋も浸水の大きな被害☆

社会福祉法人南富良野大乗会は南富良野町の幾寅（いくとら）で知的障害者のための施設をいくつも運営しており、障害者支援施設、パン工場やグループホーム、職員住宅などを持っています。どれも南富良野市にあり、中でも最も被害が大きかったのがベーカリー「森のパン屋」でした。

店の外は150cmもの浸水で、駐車場に停めてあった車はすべて水に浸って使えなくなり、店の一階は一面泥に覆われて壁の中に水が入っていました。冷蔵庫や自動販売機なども水流で倒れ、機械類も泥に覆われて動かなくなりました。

2日間店舗に近づけず、ようやく入れるようになってから、手作業で泥を掻き出し、床や壁を清掃しました。

建物に入ると、かすかなパンの香りを打ち消すように、何かが腐敗したような臭いがしました。床に入り込んだ泥の中に含まれる植物が腐敗して、臭いを発しているそうです。

窓ガラスは割れ、入口のタイルが押し出されて曲がり、垂れ下がっていました。店のドアは、鍵穴に泥が詰まって開けられなくなっていました。



店舗の裏側のドアは川に面しており、そこから水が流れ込みました。ただ、防寒のためドアが二重になっており、一度土砂



の勢いが弱まったせいで、隙間から少しずつ泥が入り込んだ程度で済んだけれども、近隣の建物の二重でないドアでは、あっという間にドアが破られ、濁流が流れ込んで非常に大きな被害になったとのことでした。

#### ☆パン工場は1日も早い再開を目指します☆

パン屋から少し離れたところにあるパン工場も見せていただきました。そこは幸いなことに浸水はほんの1cm程度で、機械類は無事でした。早い時期に床の清掃は終わったものの、工場の煙突（ダクト）が破損していることがわかりました。パンを焼く過程で排気



するための煙突2本のうちの1本です。また、地下に泥が入り込んでいて、バキュームで吸い出さなければなりません。配管も詰まっており、水を流すこともできません。地元の業者に修理の依頼をしていますが、順番待ちでいつになるかわからないとのことでした。

1日も早い再開を目指して、職員も利用者さんも一生懸命、後片付けや掃除を頑張っていました。

#### ☆地面が抉られて水に落ちた人も☆

工場の近くの入所施設では、建物の下が大きく抉られて、大きな穴ができていました。職員さんが夜中に一人で見回りに行ったところ、穴があることに気づかず、水に落ちてしまい、死にもの狂いで這い上がったそうです。深さ2mほどの大きな穴にいっぱい泥水



です。「死ぬかと思った」とのことですが、よくぞ無事でいてくれたと、胸をなでおろしました。

台風被害のあった日、職員さんや利用者さんたち

は、まだ浸水がひどくない段階で、車で移動しようとしたところ、くるぶしほどまで水が来ていることがわかり、車のタイヤの半分が水に浸



かっていたので、移動を諦め2階に避難したそうです。その判断が良かったようで、1階は水に浸かったけれども、怪我などの被害はなかったとのことでした。

2階に避難している時にヘリコプターが救助に来ましたが、ボートと違ってヘリコプターの場合、数人ずつバラバラに運ばれ、どこに搬送されるかわからないそうです。利用者さんたちには知的障害があり、職員さんと離れ離れになると心配なので、救助を断ってそのまま待機したとのことでした。



#### ☆3週間以上続く避難生活☆

被害から3週間以上経った現在でも、多くの人が避難生活を送っているそうです。避難所では段ボールの衝立で仕切っているだけ、しかも男女別にもなっていないのでストレスが多く落ち着かないようです。職員さんが夜勤のシフトを組んで



避難所でお世話をしているので、通常シフトを組める人数が減ってしまっていて大変だとのことでした。

薬も足りていないそうです。隣の市（富良野市）の病院に通っている人が多く、遠くて行けないため処方箋を出してもらって2週間分の薬は確保できました。でもそれ以上は出なかったため、災害から3週間たった今、薬が足りなくなって困っているとのことでした。特に、すぐに命に直結しないような薬、例えば耳鼻科の薬などは後回しになっていて、鼻水が止まらなくて辛い思いをしている方がいる、というお話でした。

東日本大震災の時は特例措置のおかげで処方箋なしで薬を手に入れることができたそうですが、今



回の被害では特例措置は実施されていないようです。前の震災の教訓が生かされていないように感じます。

#### ☆自力で復興するしかないが…☆

障がい者施設の運営には、利用者さんたちが出勤した日数に応じて行政からの補助金が出ますが、台風の後約1週間出勤できず、その分の補助金が削られるため、今月分の人件費をどう捻出するか、頭を痛めているとおっしゃっていました。

このように、建物や車、機械や家具など、非常に大きな被害がありましたが、行政からの金銭的支援は期待できないだろうとのことでした。

自力で復興するのに、どれくらいの費用と時間と労力がかかるか、全く想像が付きません。

#### ☆私たちも復興を支援します☆

工場でも施設でも、職員さん、利用者さんたちが一生懸命泥を掻き出し、掃除をしていました。一日も早く工場を再稼働させて、いつも通りパンを作る落ち着いた日々が戻って来るよう、私たちもできるだけ支援したいと思っています。

本当は泥の掻き出しや清掃のお手伝いに行けたら良いのですが、私たちの団体は病人と高齢者の多い少数のNPOで、実働できる人がおりません。

そこで、会員を中心に、多くの方からの募金を集めて復興の手助けをしようということになりました。



#### ☆「なんぷ〜香房」復興のための募金を お願いします！☆

障害者が災害備蓄用パンを作り、難病患者がそれを売り、地域社会の防災体制を強化するという、三者にメリットのあるシステムを、一日も早く再建したいと思います。

みなさまからのご支援をお願いいたします！ワンコインでも結構ですので、下記までご支援をお寄せください。

お礼状、事後の報告をお送りする予定ですので、メール、FAX、メッセージ等でお名前、ご住所等をご連絡ください。特に銀行口座への振り込みいただいた場合、通帳にはカタカナのお名前のみ記載されるため、振り込まれた方のお名前、住所等を知ることができません。上記手段でご連絡いただけますとありがたいです。

#### 「なんぷ〜香房支援募金」の口座

##### 【郵便振替口座】

口座番号：027 40-0-64925

名義：「特定非営利活動法人難病支援ネット北海道」

※通信欄に「なんぷ〜香房支援」とお書きください

##### 【銀行口座】

北洋銀行 石山通（いしやまどおり）支店 普通

店番号 478 口座番号 3827282

名義：トクヒ）ナンビヨウシエンネットホツカイドウ

##### 【連絡先】

特定非営利活動法人難病支援ネット北海道

〒064-0927 札幌市中央区南27条西8丁目1-28

TEL: 011-532-2360、011-511-8933

FAX: 011-511-8935

MAIL: mailbox@nsn-h.net

WEB: <http://nsn-h.net/>